

2018年3月19日

報道各位

全国段ボール工業組合連合会

「段ボール産業 物流問題改善へのご協力のお願い」
取引先へ要請文書発信のお知らせ

全国段ボール工業組合連合会(理事長：大坪 清)は、このたび別紙「段ボール産業物流問題改善へのご協力のお願い」を作成し、会員各社に発信することになりましたのでお知らせいたします。

当連合会では、昨年6月、段ボール産業におけるドライバー不足の窮状を訴えるため、「段ボール業界における物流問題について」と題する文書を作成し、会員各社がそれぞれお取引先への理解を求めてまいりました。

昨今、段ボール製品の配送においては、手荷役の多さや長時間の拘束などの厳しい労働環境のため、とりわけドライバー不足が深刻化し危機的な状況に陥っており、お取引先様への供給にも支障が生じるものと危惧されています。

当連合会では、2014年11月に生産性向上委員会(TFPコミッティー)を発足し、全要素生産性(TFP)の向上を通じた労働時間の削減等「働き方改革」に取り組んで来ましたが、段ボール製品配送の担い手を確保するためには、段ボール配送のあり方を時代の要請に合わせて再構築し、ドライバーの「働き方改革」を進め労働環境改善を図ることが避けては通れない状況となっています。

今般、当該文書を会員各社に発信し、会員の組合員企業が自主的判断により、着荷主となるお取引様とともに物流問題に取り組み、段ボール配送のあり方を再構築することで、ドライバーの労働環境が改善されることを強く期待するものです。

【本件に関するお問い合わせ先】

全国段ボール工業組合連合会 TEL : 03-3248-4851

2018年3月19日

お取引先様 各位

段ボール産業 物流問題改善へのご協力をお願い

全国段ボール工業組合連合会

平素は、段ボール産業および会員各社に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、段ボール産業は、2015年度から全要素生産性（TFP：Total Factor Productivity）の向上に取り組み、総実労働時間の削減に努めてまいりました。

段ボールの生産量は、昨年2017年に過去最高を記録するとともに、今年もさらに更新することが予想されていますが、会員各社が「働き方改革」を推進し生産性向上に努めた結果、業界の年間総実労働時間は、生産量が増大する中でも毎年僅かながら減少するとともに、年次有給休暇の取得も進むなど、一定の成果をあげています。

そのような中、喫緊の課題として物流問題の改善があらためてクローズアップされています。段ボール製品の配送においては、手荷役の多さや長時間の拘束などの厳しい労働環境のため、とりわけドライバー不足が深刻化し危機的な状況に陥っており、お取引先様への供給にも支障が生じるものと危惧いたしております。

配送ドライバーが長時間労働となる要因は、長時間におよぶ荷下ろし待ち（手待時間）、荷役作業以外の付帯作業、配送時間指定などがあげられます。会員各社は、運送委託者として、運送事業者が労働時間のルールを遵守できるよう対策を講じなければなりません。そのためには着荷主であるお取引先様のご理解とご協力が必要不可欠となります。

これまでも、段ボール製品配送の担い手を確保するために、会員各社は賃金を含めた労働諸条件の向上に尽力しておりますが、段ボール配送のあり方を時代の要請に合わせて再構築し、ドライバーの「働き方改革」を進め労働環境改善を図ることが避けては通れない状況となっております。

お取引先の皆様におかれましては、段ボール産業の物流問題の改善について、何とぞ事情ご賢察の上、格別なるご高配を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

以 上